

2022年度

エコドライブ活動コンクール

優秀取組事例集



「環境にやさしい取組みをしている運輸事業者」を
認証する制度が、グリーン経営認証です。
国土交通省及び各事業団体の協力を得て、エコモ
財団が推進しています。



 公益財団法人
交通エコロジー・モビリティ財団

〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号 後楽森ビル10階
交通環境対策部 TEL:03-5844-6268 FAX:03-5844-6294

 公益財団法人
交通エコロジー・モビリティ財団

目次

- エコドライブ活動コンクールとは 1
- コンクール概要 2
- 募集結果 3
- 表彰式 4
- 受賞者一覧 (大臣賞・審査委員長特別賞・優秀賞)
- エコドライブ優秀活動認定事業者一覧 5
- 優良受賞事業者一覧
- エコドライブ優良活動認定事業者一覧 6
- 二次審査応募事業者一覧 7
- 大臣賞受賞事業者の取組事例紹介
- 国土交通大臣賞 (事業部門)
- 磐城通運株式会社 8
- 環境大臣賞 (一般部門)
- DINS関西株式会社 GE事業所 10
- 審査委員長特別賞受賞事業者のエコドライブ支援機器・サービス紹介
- 審査委員長特別賞 (支援ビジネス部門)
- いすゞ自動車株式会社「MIMAMORI」 12
- 株式会社渡辺精工社・株式会社トワード「Eco-SAM」 13
- 上位受賞事業者の取組事例紹介
- 優秀賞 (事業部門)
- 花王ロジスティクス株式会社 石狩営業所 14
- 日本トラック株式会社 16
- 有限会社裕進運輸 18
- 有限会社エース 三重営業所 20
- 南海バス株式会社 井高野営業所 22
- 優秀賞 (一般部門)
- 仲田総業株式会社 川田事業所 24
- エステー株式会社 26
- エコドライブ活動の基本取組 28
- 上位受賞事業者以外の特徴的な取組事例紹介 29

エコドライブ活動コンクールとは

◎全国的なエコドライブ活動のコンクールを開催！

公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団は、1997年に設立された「エコドライブ普及推進協議会」(運輸関係等16団体で構成)の事務局を務めるとともに、独自に様々なエコドライブを普及推進するための活動をしています。

この活動の一環として、2011年度から「エコドライブ活動コンクール」を開催して優れた取組みを行っている事業者などを表彰し、その取組・製品を紹介することで更なる普及を図っています。



◎エコドライブ活動コンクールは燃費を競い合うもの？

違います!!

本コンクールは、燃費の改善状況だけを審査するものではなく、事業者のエコドライブ活動について取組内容を幅広い観点から審査するコンクールです。

優れたエコドライブ活動の事例を集めて紹介していますので、更なるエコドライブ活動の推進に役立ててください。

参加のメリットは？

● 社内のモチベーションアップ・活性化につながります

コンクールへの参加という具体的な共通目標を設定し、組織で取組むことが社員の意識向上につながります。

● エコドライブ推進の支援ツールが手に入ります

コンクールに参加することでエコドライブポスターやチラシ、参加登録証明書や優秀取組事例集など、活動を盛り上げるための様々なツールが手に入ります。

● 自社の活動レベルを客観的に評価できます

多くの事業者の中でどのレベルに位置しているのか客観的な評価を受けることができ、活動の更なるレベルアップにつながります。



審査項目	極めて優秀	優秀	標準	不十分
(1) 取組体制の整備		●		
(2) 教育の実施			●	
(3) 燃費管理	●			
(4) 活動成果		●	●	
(5) 継続実績と方策		●		
総合結果		●		

コンクール概要

- 主催：公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
- 後援：「エコドライブ普及連絡会」(警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省)

「エコドライブ普及推進協議会」

(一社)日本損害保険協会、(一社)日本自動車工業会、(一社)日本自動車リース協会連合会、(公社)日本バス協会、(一社)日本自動車連盟、(公社)全日本トラック協会、(一社)全国自家用自動車協会、(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会、(一社)日本自動車整備振興会連合会、(一社)日本中古自動車販売協会連合会、(一社)全国個人タクシー協会、(一社)全国レンタカー協会、(一財)環境優良車普及機構、(一社)日本自動車運行管理協会、(公財)交通エコロジー・モビリティ財団

● 募集対象

事業部門(緑ナンバー)	自社の車両を保有(リースを含む)するトラック、バス、タクシーなどの運輸事業者。
一般部門(白ナンバー)	移動などの業務上で車両を使用している事業者。自社の製品等を運搬している場合を含む。
支援ビジネス部門	エコドライブを支援する機器やサービス。 ※詳しくは事務局窓口までお問い合わせください。
ユニーク部門	エコドライブに関する独自の取組を実施しているさまざまな主体。 ※詳しくは事務局窓口までお問い合わせください。

- スケジュール：応募期間 2022年5月9日(月)～7月8日(金)
表彰式 2022年11月28日(月)開催の「2022年度エコドライブシンポジウム」の中で表彰

- 審査：審査は審査委員会(審査委員長:大聖 泰弘 早稲田大学名誉教授)にて実施

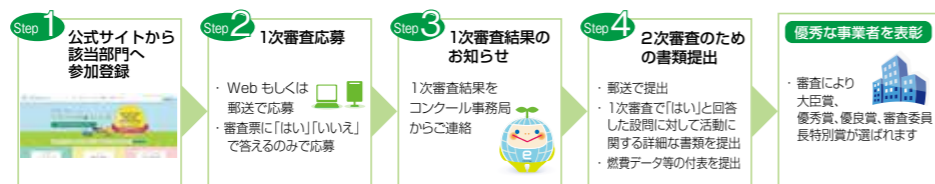
1. 取組体制の整備	どのような社内体制(方針、目標、管理体制など)で活動を行っているか。
2. 教育の実施	従業員にどのようなエコドライブの教育・指導を行っているか。
3. 燃費管理	どのような仕組みで燃費データを収集・管理しているか。
4. 活動成果	どの程度の燃費向上を達成しているか。 燃費以外の副次的効果とエコドライブ活動に対する評価をどのように行っているか。
5. 継続実績と方策	エコドライブ活動を継続するため、どのような取組を実践しているか。

※ただし、支援ビジネス部門とユニーク部門は上記審査基準によらず、エコドライブに関する特徴的な取組を評価します。

- 表彰：国土交通大臣賞(事業部門) 1件
環境大臣賞(一般部門) 1件
審査委員長特別賞(支援ビジネス部門) 2件
優秀賞(事業部門・一般部門) 7件
優良賞(事業部門・一般部門) 47件

- 応募費用：無料

- コンクールの流れ



募集結果

● 参加数

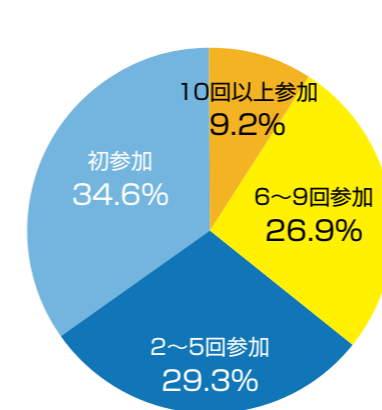
全部門

	応募件数	事業所数	従業員数	車両台数
一次審査	413	1,167	87,962	40,235
二次審査	219	839	65,851	31,820

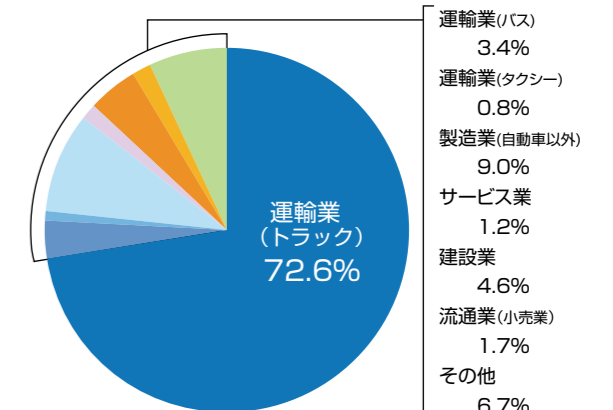
部門別

	応募件数	事業所数	従業員数	車両台数
事業部門	382	918	66,134	33,259
一般部門	31	249	21,828	6,976
支援ビジネス部門	2	—	—	—
ユニーク部門	1	434	85	18

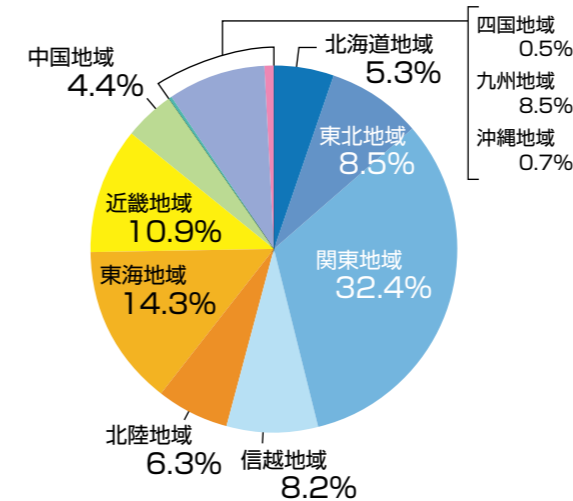
● 新規・継続応募件数割合 (支援ビジネス部門・ユニーク部門を除く)



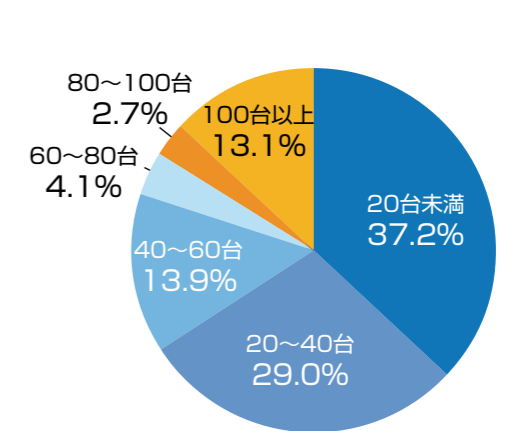
● 業種別応募件数割合 (支援ビジネス部門・ユニーク部門を除く)



● 地域別応募件数割合 (支援ビジネス部門・ユニーク部門を除く)



● 車両台数別応募件数割合 (支援ビジネス部門・ユニーク部門を除く)



表彰式

「2022年度エコドライブシンポジウム」にて、表彰式を行いました。

日時：2022年11月28日(月)13:30～16:00
場所：千代田区立内幸町ホール(東京都千代田区)



前列左より(敬称略)
早稲田大学 大聖名誉教授、環境省 水・大気環境局 福島自動車環境対策課長、DINS関西(株) GE事業所 大田代表取締役、磐城通運株式会社 北郷常務取締役、国土交通省 岩月総合政策局次長、(公財)交通エコロジー・モビリティ財団 岩村会長

後列左より
エステー(株) 国内営業本部 営業支援グループ 宮下マネージャー、南海バス(株) 井高野営業所 河本支配人、(有)裕進運輸 稲葉運輸改革部長、花王ロジスティクス(株) 石狩営業所 佐々木所長、(株)渡辺精工社 浦野第三事業部課長、いすゞ自動車(株) 齋藤商品技術戦略部門執行担当、日本トラック(株) 星藤沢営業所所長、(有)エース 三重営業所 渡辺所長、仲田総業(株) 川田事業所 仲田代表取締役



表彰式(国土交通大臣賞)



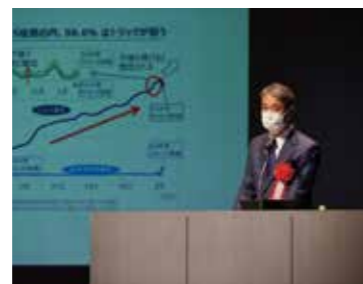
表彰式(環境大臣賞)



表彰式(審査委員長特別賞)



審査講評



いすゞ自動車(株) 取組紹介



記念楯

受賞者一覧

: グリーン経営認証取得事業所

国土交通大臣賞

磐城通運株式会社 福島県

環境大臣賞

DINS関西株式会社 GE事業所 大阪府

審査委員長特別賞

支援ビジネス部門

いすゞ自動車株式会社 「MIMAMORI」

株式会社渡辺精工社・株式会社トワード 「Eco-SAM」

優秀賞 (都道府県順)

事業部門

花王ロジスティクス株式会社 石狩営業所 北海道

日本トラック株式会社 神奈川県

有限会社裕進運輸 三重県

有限会社エース 三重営業所 三重県

南海バス株式会社 井高野営業所 大阪府

一般部門

仲田総業株式会社 川田事業所 栃木県

エステー株式会社 東京都

エコドライブ優秀活動認定事業者一覧

(都道府県順)

表彰規定により、より上位の賞でなければ連続して受賞できない事業者で、優秀賞相当の取組を継続していると評価された事業者を認定するものです。



事業部門

F-LINE株式会社 栃木物流センター 栃木県

株式会社ロジパルエクスプレス 東京都

有限会社古川商事運輸 本社営業所 東京都

上越運送株式会社 新潟県

新潟陸運株式会社 新潟県

南信州広域タクシー有限公司 長野県

西濃運輸株式会社 岐阜県

東和通商株式会社 静岡県

株式会社中田商事 本社営業所 三重県

一般部門

ネットヨタ山形株式会社 山形県

株式会社日産フィナンシャルサービス 千葉県

株式会社エコワスプラント 東京都

沖縄トヨタ自動車株式会社 沖縄県

優良受賞事業者一覧

(都道府県順)



優良賞

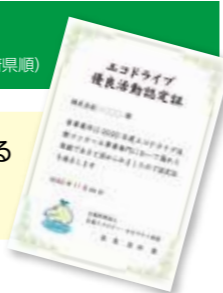
(都道府県順)

事業部門			
SBS三菱ロジスティクス株式会社 北海道支店札幌営業所輸配送係	北海道	東洋メビウス株式会社 豊橋支店	愛知県
北海道フーズ輸送株式会社 旭川第2物流センター	北海道	株式会社エネックス 中部支店	愛知県
株式会社エネックス 東北支店	宮城県	太陽運輸株式会社 本社営業所	滋賀県
SBS三菱ロジスティクス株式会社 山形営業所	山形県	株式会社ケン・トップカーゴ 本社営業所	滋賀県
宮内運通株式会社 本社営業所	山形県	共伸商事株式会社 本社営業所	大阪府
有限会社美松運送 本社営業所	群馬県	菱華運輸株式会社 本社	兵庫県
株式会社エステーシステム 草加営業所	埼玉県	株式会社エネックス 西日本支店水島営業所	岡山県
株式会社渡辺運輸 本社営業所	埼玉県	花王ロジスティクス株式会社 岡山営業所	岡山県
株式会社東配 本社営業所	埼玉県	明和運送株式会社	広島県
平沢運輸株式会社 千葉営業所	千葉県	今井運送株式会社	広島県
佐川急便株式会社 成田営業所	千葉県	南国輸送株式会社 福岡営業所	福岡県
株式会社丸運トランスポート東日本 千葉支店市原営業所	千葉県	株式会社丸野 福岡支店	長崎県
東京共同ロジテム株式会社 本社営業所	東京都	株式会社丸野 富の原営業所	長崎県
国際自動車株式会社T2 三鷹営業所等	東京都	株式会社丸野 長崎物流センター	長崎県
日京運輸株式会社 鶴見営業所	東京都	有限会社丸野バンライン 東彼杵営業所	長崎県
小林運輸株式会社 本社営業所	神奈川県	株式会社丸野 基山営業所	長崎県
株式会社第一製品流通 本社	新潟県	丸野興産株式会社 諫早営業所	長崎県
株式会社ヒスコム 砺波LC営業所	富山県	株式会社丸野 本社営業所	長崎県
平沢運輸株式会社 竜王営業所	山梨県	有限会社丸野バンライン 大村営業所	長崎県
株式会社エネックス 大井川営業所	静岡県	株式会社丸野 佐世保営業所	長崎県
SBS三菱ロジスティクス株式会社 名古屋支店 マシン物流課	愛知県	南国輸送株式会社 八代営業所	熊本県
株式会社オーエムトランス 本社営業所	愛知県	南国輸送株式会社 鹿児島石油営業所	鹿児島県
日東運送株式会社 本社営業所	愛知県	内外運輸株式会社 業務管理部 西原営業所	沖縄県

エコドライブ優良活動認定事業者一覧

(都道府県順)

昨年度のエコドライブ活動コンクールにて優良賞以上を受賞し、今年度も同水準を継続している事業所および一定レベル以上の活動をしていると評価された事業所を認定するものです。



事業部門			
株式会社エネックス 北海道支店	北海道	花王ロジスティクス株式会社 新潟ロジスティクスセンター	新潟県
株式会社丸運トランスポート札幌 本社	北海道	星崎運輸株式会社 金沢支店	石川県
北海道フーズ輸送株式会社 旭川支店	北海道	星崎運輸株式会社 富山営業所	石川県
幸楽輸送株式会社 札幌事業部 札幌営業部 輸送課	北海道	松葉倉庫運輸株式会社 本社営業所	静岡県
株式会社エネックス 北海道支店 石狩営業所	北海道	株式会社トレードトラスト 浜松シェアロジセンター	静岡県
株式会社エネックス 東北支店 青森営業所	青森県	有限会社クワイヤー梱包 本社	愛知県
SBS三菱ロジスティクス株式会社 北東北支店 岩手営業所	岩手県	平野商運株式会社 本社営業所	愛知県
ケーエルサービス東日本株式会社 仙台営業所	宮城県	滋賀観光バス株式会社 大阪営業所	滋賀県
SBS三菱ロジスティクス株式会社 福島営業所	福島県	滋賀観光バス株式会社 長浜営業所	滋賀県
株式会社トレンディ茨城 本社営業所	茨城県	滋賀観光バス株式会社 甲西営業所	滋賀県
ケーエルサービス東日本株式会社 茨城営業所	茨城県	敦賀観光バス株式会社 本社営業所	滋賀県
SBS三菱ロジスティクス株式会社 北関東支店茨城営業所	茨城県	滋賀観光バス株式会社 八日市営業所	滋賀県
平沢運輸株式会社 石橋営業所	栃木県	滋賀観光バス株式会社 京都営業所	滋賀県
青翔運輸株式会社 本社営業所	埼玉県	扇町運送株式会社 本社	大阪府
株式会社エネックス 関東LNG支店 袖ヶ浦営業所	千葉県	株式会社福田物流 本社営業所	大阪府
相川運送有限会社 本社	東京都	ニシリク株式会社 本社	大阪府
SBSリコーロジスティクス株式会社 輸配送二課	東京都	株式会社エネックス 西日本支店	大阪府
平沢運輸株式会社 磯子営業所	神奈川県	株式会社エネックス 西日本支店 姫路営業所	兵庫県
株式会社タカセ運輸集配システム	神奈川県	日の丸タクシー株式会社 本社営業所	岡山県
株式会社INPEXロジスティクス 本社営業所	新潟県	株式会社サンエストラテック 福岡事業所	福岡県
株式会社エネックス 新潟支店	新潟県	株式会社サンエストラテック 北九州事業所	福岡県

一般部門

シスメックス株式会社	兵庫県	株式会社トヨタレンタリース熊本 総合営業部	熊本県
久屋産業株式会社 本社・第2工場	福岡県		

二次審査応募事業者一覧

(都道府県順)

事業部門

株式会社エネックス 苫小牧営業所	北海道	黒部モビリティサービス株式会社 交通グループ	富山県
有限会社北海道商事	北海道	北陸日本海油送株式会社 金沢支店	石川県
北海道フーズ輸送株式会社 本社営業所	北海道	佐川急便株式会社 加賀営業所	石川県
北海道フーズ輸送株式会社 石狩第2物流センター	北海道	佐川急便株式会社 白山営業所	石川県
北海道フーズ輸送株式会社 石狩支店	北海道	株式会社日本海開発 日本海開発	石川県
北海道フーズ輸送株式会社 石狩低温物流センター	北海道	佐川急便株式会社 福井営業所	福井県
北海道フーズ輸送株式会社 江別営業所	北海道	株式会社コーエイ 流通団地営業所	山梨県
札幌第一観光バス株式会社 本社営業所	北海道	平沢運輸株式会社 飯田営業所	長野県
北海道エネライン株式会社 帯広営業所	北海道	長野石油輸送株式会社 本社営業所	長野県
花王ロジスティクス株式会社 仙台営業所	宮城県	花王ロジスティクス株式会社 更埴営業所	長野県
SBS三菱ロジスティクス株式会社 南東北支店 東北営業所	宮城県	佐川急便株式会社 岐阜営業所	岐阜県
株式会社エネックス 秋田支店	秋田県	株式会社橋南ツバタ 静岡営業所	静岡県
株式会社エネックス 秋田支店 庄内営業所	山形県	佐川急便株式会社 静岡営業所	静岡県
株式会社エネックス 関東LNG支店茨城営業所	茨城県	佐川急便株式会社 御殿場営業所	静岡県
SBS三菱ロジスティクス株式会社 栃木営業所	栃木県	静岡石油輸送株式会社 富士営業所	静岡県
SBS三菱ロジスティクス株式会社 関東支社北関東支店群馬営業所	群馬県	SBSリコーロジスティクス株式会社 東静岡支店 輸送課	静岡県
新雪運輸株式会社 本社営業所	埼玉県	エムケー物流株式会社 藤岡本社	愛知県
株式会社啓和運輸 本社事業部	埼玉県	共同輸送株式会社 中京物流センター	愛知県
光和輸送株式会社 本社営業所	埼玉県	星崎運輸株式会社 本社営業所	愛知県
小田運輸株式会社 関東支店埼玉営業所	埼玉県	有限会社コトキ運輸 本社営業所	愛知県
花王ロジスティクス株式会社 岩槻営業所	埼玉県	株式会社FARWEST 大高本社営業所	愛知県
株式会社小嶋衛生社	埼玉県	花王ロジスティクス株式会社 稲沢営業所	愛知県
株式会社東日本トランスポート 戸田営業所	埼玉県	株式会社エネックス 四日市営業所	三重県
平沢運輸株式会社 市原営業所	千葉県	中川運輸株式会社 本社営業所	三重県
株式会社エネックス 関東支店	千葉県	久居運送株式会社 本社営業所	三重県
花王ロジスティクス株式会社 沼南営業所	千葉県	株式会社滋賀運送甲賀	滋賀県
小岩相互運輸株式会社 本社営業所	東京都	のいちバス株式会社 本社営業所	滋賀県
上野輸送株式会社 本社	東京都	銀鈴タクシー株式会社 本社	京都府
佐川急便株式会社 福生営業所	東京都	千里山バス株式会社 本社営業所	大阪府
株式会社エネックス 関東支店 八王子営業所	東京都	花王ロジスティクス株式会社 堺営業所	大阪府
株式会社ニヤクコーポレーション オペレーション統括グループ	東京都	SBS三菱ロジスティクス 物流センター関西	大阪府
花王ロジスティクス株式会社 八王子営業所	東京都	株式会社藤急エクスプレス 東大阪営業所	大阪府
ASKULLOLOGIST株式会社 東日本配送第一事業本部	東京都	株式会社MFL 大阪本社	大阪府
総合警備保障株式会社 本社	東京都	花王ロジスティクス株式会社 尼崎営業所	兵庫県
SBSリコーロジスティクス株式会社 物流センター厚木	神奈川県	株式会社弥生運輸 兵庫支店	兵庫県
株式会社エネックス 関東支店 川崎営業所	神奈川県	花王ロジスティクス株式会社 広島営業所	広島県
株式会社エヌ・ディ・ティ 本社営業所	神奈川県	株式会社井口産交 本社	広島県
国際自動車株式会社横浜 横浜本社営業所	神奈川県	佐川急便株式会社 広島営業所	広島県
GBtechnology株式会社 XDC/川崎	神奈川県	花王ロジスティクス株式会社 坂出営業所	香川県
泉の交通株式会社 本社	神奈川県	株式会社エネックス 西日本支店 九州営業所	福岡県
株式会社カシマ 本社営業所	神奈川県	株式会社サンエストラテック 大分事業所	福岡県
花王ロジスティクス株式会社 川崎営業所	神奈川県	松藤グループ 松藤商事株式会社	福岡県
佐川急便株式会社 横浜南営業所	神奈川県	株式会社ランクルーズ 本社営業所	福岡県
株式会社エネックス 関東LNG支店	神奈川県	花王ロジスティクス株式会社 福岡北営業所	福岡県
東西運輸株式会社 東港営業所	新潟県	丸三運輸倉庫株式会社 本社営業所	福岡県
マルソー株式会社 三条営業所	新潟県	興國海運株式会社 九州支店営業課	福岡県
株式会社エネックス 上越営業所	新潟県	SBS三菱ロジスティクス株式会社 九州支社 九州中央支店	佐賀県
北陸日本海油送株式会社 富山支店	富山県	株式会社中津急行 本社営業所	大分県

一般部門

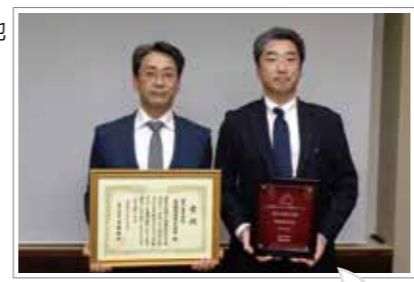
みやぎ生活協同組合 宅配運営部	宮城県	ダイキン工業株式会社 名古屋ビル	愛知県
総合警備保障株式会社 本社	東京都	株式会社スカット 本社・大正リサイクル工場	大阪府
昭和産業株式会社 本社	東京都	株式会社木村衛生 大正事業所	大阪府
ダイキン工業株式会社 サービス本部 中部サービス部	愛知県	株式会社メディクリーン	福岡県
株式会社大丸松坂屋百貨店 松坂屋名古屋店お得意様営業部	愛知県		

大臣賞受賞事業者の取組事例紹介



磐城通運株式会社

所在地：福島県いわき市平字十五丁目21番地
 業務内容：運輸業(トラック)
 拠点数：7
 従業員数：282名
 車両数：221台
 活動実績：17年



2005年の活動開始以来、全社で取り組む質の高いエコドライブ活動

2005年からグリーン経営認証を取得し、エコドライブ活動を開始。環境保全を企業の社会的責任と考え、全社でエコドライブに積極的に取り組んでいる。環境管理体制委員や職場巡回ドライバー・ミーティングの開催など、全社で連携してエコドライブ活動に取り組める体制を構築。また、従業員教育にも力を入れており、組織としてエコドライブ活動への意識向上を図っている。

エコドライブ活動の成果

2004年度比
19.6%燃費向上
(大型ディーゼル車)
無事故達成
(重大事故)

受賞事業者の声

今回は、大変栄誉ある賞を戴くことができましたが、これをゴールとせず引き続きエコドライブ活動等の環境対策のレベルアップに邁進して参ります。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	理念・方針	・理念・環境方針を各事業所に展開	事業所ごとに環境対策委員を組織。具体的な役割内容まで明示
	組織・体制		環境対策委員
	目標・計画 周知・説明 点検・整備	・エコドライブの計画、低公害車の導入など目標や行動計画を細かく設定 ・各事業所に「エコドライブ推進12項目」のポスターを掲示 ・事業所ごとに整備管理者を選任し車両を整備	各事業所に社内外のエコドライブや環境に関わる資料を配布し、教育に活用
教育の実施	環境問題 教育計画 教育資料	・各事業所に地球環境問題のポスターを掲示 ・環境行動計画にて、エコドライブ講習会の開催予定を明示	事業所ごとに資料を作成。前月や前年同月の燃費記録と実績を比較
	教育記録 外部セミナー マイカー教育	・教育・指導内容と参加者を記録 ・社内講習会にてDVDを鑑賞 ・マイカー向けの資料を活用して教育を実施	福島県「環境教育サポート団体」に登録されている
	燃費目標 燃費管理 燃費分析	・車両ごとの燃費目標を設定 ・独自システムで燃料使用量を管理	毎年グリーン経営取組状況を評価。目標及び計画を見直し
燃費管理	教育活用 過去履歴	・毎月の燃費実績やCO2排出実績の一覧を掲示 ・車両ごとの推移を閲覧できる資料を作成・掲示	経営状況 目標
	燃費向上 事故管理 成果の周知	・2004年度比で19.6%向上(大型ディーゼル車) ・事故件数・修繕費を管理 ・各事業所でのミーティング・掲示・回覧で成果を周知	
	活動成果	・2005年7月より活動開始	
活動成果	対外活動 社員評価	・毎年、燃費を競うコンテストを開催	
	活動実績 活動見直し	・2005年7月より活動開始	
	独自工夫 認証登録 エコカー等	・独自会議や講習会を開催 ・グリーン経営認証を継続して取得 ・最新規制適合ディーゼル車を計画的に導入	

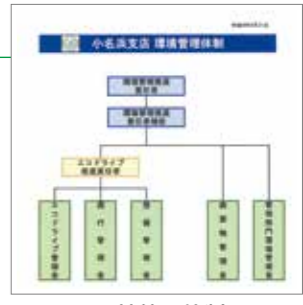
エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント 円滑な活動につなげる双方向コミュニケーション

全社員で連携してエコドライブに取り組むための体制

エコドライブ活動を推進する仕組みとして、普段からドライバーにエコドライブ指導を行っているエコドライブ管理者や運行管理者、各拠点の支店長などで構成される環境管理体制委員を組織。年に2回開催している「エコドライブ推進会議」では、ドライバーより集まった意見を交えて、燃費目標達成に向けた改善策の意見交換を実施。エコドライブを推進する組織とドライバーによる双方向のコミュニケーションを大切することで相互理解が高まり、連携の取れた取組につながっている。



教育の実施

評価ポイント ドライバーの意見を直接吸い上げる仕組みづくり

ドライバーがコミュニケーションを図る「職場巡回ドライバー・ミーティング」

毎年12月に、グリーン経営/エコドライブ/点検整備の情報を伝達する「職場巡回ドライバー・ミーティング」を実施しており、環境問題対策委員会の事務局員が各事業所を訪問。このミーティングの場は単に情報を伝えるだけでなく、事務局員とドライバーのコミュニケーションを図る場としても活用している。ドライバーの意見を直接聞くことで新たな取組のヒントや課題などを発見し、コミュニケーションを重視しながらエコドライブ活動を推進している。



ミーティング風景

教育の実施

評価ポイント マイカー運転時もエコドライブを意識させる工夫

マイカーでのエコドライブを振り返るチェックシート

マイカーのエコドライブ指導として、社内で作成したポスターなどの各種教育資料の掲示に加え、エコドライブ通勤チェックシートを作成し運用。エコドライブ通勤チェックシートでは、エコドライブのポイントをピックアップして掲載。1か月ごとに各ポイントを実施できたか「○」もしくは「×」を記入し、毎月の振り返りを行っている。マイカー教育を実施することで普段車両を運転しない従業員のエコドライブ意識醸成だけでなく、全従業員が普段の運転からエコドライブを意識できるようにする工夫している。



エコドライブ通勤チェックシート

継続実績と方策

評価ポイント モチベーションを低下させない細かなケア

燃費評価で有利不利が発生しないようにする工夫

ドライバーの燃費意識やエコドライブ知識が高いため、走行ルートなどの異なる条件で燃費の有利不利が発生すると、エコドライブのモチベーションにも影響が出かねないという考えから、業務ローテーションを実施。燃費コンテストなどの燃費を競う取組も行っているため、エコドライブ意識の低下を防ぐため、条件を均すことでモチベーション維持の一翼を担っている。



配送計画表



DINS関西株式会社 GE事業所

所在地：大阪府西区築港新町1-5-38
 業務内容：廃棄物処理業
 拠点数：1
 従業員数：74名
 車両数：8台
 活動実績：16年



質の高い取組をグループ全体に浸透するよう活動

環境保全活動の一環としてエコドライブ活動を開始。具体的な目標値を設定し、車種・使用用途ごとの燃費管理や講習の実施など、質の高いエコドライブ活動を行っている。コロナ禍で講習会等が中止になる中、**社内独自で従業員向け講習を実施**。レベルの高い活動を継続し、現在では社内全体に質の高いエコドライブの取組が波及し始めている。

エコドライブ活動の成果

2007年度比
22.1%燃費向上
(小型自動車)
無事故継続
(すべての事故)

受賞事業者の声

環境大臣賞という栄誉ある賞を受賞でき、大変光栄です。今回の受賞を励みに、今後も従業員一丸となりエコドライブに努めてまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組	・エコアクション21環境活動を通じ、エコドライブ活動を実施	毎月エコドライブの進捗をまとめ、エコアクション21委員会で確認、管理
	体制・目標		
教育の実施	点検・整備	・日常点検は車両使用ごとに実施。定期点検は時期・ルールを決めて実施	
	環境問題	・エコアクション21委員会にて環境問題について毎月議論	年に2回、自動車の使用用途別に講習を実施
燃費管理	教育資料	・使用用途が異なるため、車両特徴ごとに教育資料を分けて教育	
	燃費目標	・記録した燃費データを毎月のエコアクション21委員会にて報告	環境目標一覧表にて次年度以降、中長期の燃費目標を策定
活動成果	燃費向上	・2007年度比で 22.1%燃費向上(小型自動車)	毎年、会社ホームページのエコアクション21環境レポートにエコドライブ活動に関する情報を掲載
	事故管理	・エコドライブ活動以前より事故件数を管理	
継続実績と方策	対外活動		全員参加型の「内部コミュニケーション」において意見交換や提案を実施
	活動実績	・2006年より活動開始	
	エコカー等	・コネクティッドカーを導入し走行データや燃費などをクラウドで管理	
	独自工夫		

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント：活動成果などを効率的に水平展開する仕組みを構築

エコアクション21委員会を起点とした情報共有の仕組みづくり

毎月、各部署のエコアクション21委員が集まる委員会を開催し、燃費結果を含む環境活動の進捗状況を報告。報告内容は部署ごとに実施する内部コミュニケーションで共有され、全従業員に周知できる仕組みが構築されている。
 さらに、エコアクション21の活動を通してエコドライブだけでなく、「ガス」「電気」「水」「廃棄物」削減などにも取り組んでいる。全社で取り組むことで、環境活動や環境負荷低減の意識を醸成。エコドライブに取り組む目的の幅が広がり、より従業員に浸透しやすくなった。



エコアクション21委員会

教育の実施

評価ポイント：燃費改善につなげる工夫を凝らしたエコドライブ活動

車両の使用用途別の講習や独自の教育資料を作成

全従業員に向けて実践的なエコドライブ教育を行うため、一般従業員の他、収集運搬車ドライバー向けのエコドライブ講習も実施。業務内容により運転する目的や車種が異なるため、収集運搬車と一般車で教育内容を分けていることで、より効率的な燃費改善につなげている。
 また、社内講習会に加え、堺市環境指導課のエコドライブ講義も受講。近年はコロナ禍により開催されないため、社内の担当者が教育資料を作成し従業員向けに講習を実施。活動を推進する社内メンバーの創意工夫により、高いレベルでの取組を続けている。



大型車用・普通車用講習会

活動成果

評価ポイント：徹底した燃費把握で取り組むエコドライブ活動

細やかな燃費分析や燃費計で取組を活性化

担当部署が満タン法で燃費を算出し、車種毎の燃費推移を管理。目標達成・未達の要因を毎月分析し記録している。
 また、ドライバーが常に瞬間燃費と平均燃費を把握できるよう燃費計を活用。車両に燃費計が標準搭載されていない場合は燃費計を後付けし、全車両でアクセルの踏み方による燃費の変化などがすぐに把握できるようにしている。
 エコドライブの実践結果を分かりやすくドライバーに伝わるように工夫することで、意識高く活動を実施できる体制を整えている。



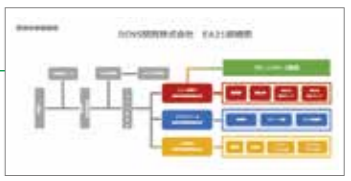
燃費計の活用

活動成果

評価ポイント：1つの事業所で始めた活動が企業全体に波及

エコドライブの取組が企業全体の環境活動のレベルアップに貢献

もともと別会社だった4つの事業所が個別の環境活動を行っていたが、近年は徐々に取組内容を統合。その結果、GE事業所が実施していた質の高いエコドライブ活動はDINS関西全体の環境活動のレベルアップに貢献している。
 今後はさらなる活動規模拡大に向けて、グループ企業全体で高レベルなエコドライブ活動に取り組むことを目指していく。



グループ体制図

審査委員長特別賞受賞事業者のエコドライブ支援機器・サービス紹介



いすゞ自動車株式会社「MIMAMORI」

所在地：神奈川県横浜市西区高島一丁目2番5号横濱ゲートタワー
 主要製品：大型・中型・小型トラック、バス、自動車用ディーゼルエンジン、産業用ディーゼルエンジン



エコドライブ活動を支援する製品・サービスの概要

MIMAMORIはインターネットを活用したクラウドタイプの有償運行管理システム。車両と事務所を接続し、遠隔で車両運行情報の収集や解析ができる。

エコドライブや安全運転につながる様々なサービスを展開。省燃費運転レポートでは、商用車メーカーならではの運転操作のノウハウを元に、アクセル操作やブレーキ操作、燃費やアイドリング時の燃料使用量等の車両制御情報を表示している。

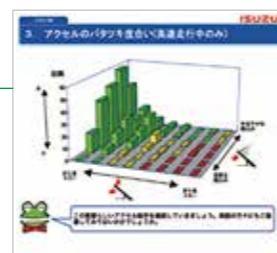
現在MIMAMORIは約6万5千台の車両に利用されている。

ドライバー自身の学習を促すクラウド活用のレポート機能

MIMAMORIは車両を制御するコントロールユニットから直接運転操作データを取得している。そのため、運転操作や稼動状況を詳細に把握可能。正確なアクセル操作やブレーキ操作、急加減速などの状況をドライバーが確認することができ、省燃費・安全運転の改善に活用することができる。

受賞事業者の声

これからもお客様の価値最大化を目指し、「荷主様」・「運送事業者様」・「倉庫事業者様」のみならず、社会インフラなどの連携により、物流業界が抱えるさまざまな課題解決に、「貢献するための仕組み」を提供して行きたいと思っております。



レポート機能



改善項目のピックアップ

分析機能でドライバー教育をサポート

エコドライブ・トレーニングレポートでは、エコドライブ評価の中で、特に改善が必要な項目を3つピックアップ。ドライバー毎に点数と等級、トレーニングメニューを表示する。等級アップの目標値も表示して、エコドライブ技術の向上を促している。

いすゞ自動車によるMIMAMORIの燃費改善効果調査

MIMAMORIを利用している事業者をランダムに20社選定し、燃費改善率を確認する調査をいすゞ自動車が実施。その結果、平均で11%燃費が改善しており、最高で39%の燃費改善が確認された。

仮にMIMAMORIを利用している全ての顧客事業者が平均と同じ燃費改善率だった場合、年間の燃料使用量で約9,900万L、CO2換算で約25万7千t削減の効果があると試算している。



いすゞによる燃費改善分析



株式会社渡辺精工社・株式会社トワード「Eco-SAM」

株式会社渡辺精工社
 所在地：東京都大田区田園調布本町57-4
 業務内容：器材・工具類販売、各種製品の販売、ICTシステム販売・構築・展開・運用 など

株式会社トワード
 所在地：佐賀県神埼郡吉野ヶ里町三津166-13
 業務内容：一般貨物自動車運送事業、情報システム開発販売業 など



受賞事業者の声

私どもは、「Eco-SAMでセーフティー・エコドライブの文化を創り、地球環境貢献と交通事故削減に全力で取り組む」ことを使命とし日々活動しております。今後もより一層邁進し、広くお客様に普及させていただきたいと考えております。

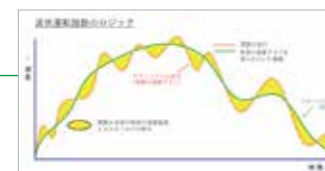
エコドライブ活動を支援する製品・サービスの概要

渡辺精工社が販売するEco-SAMは、トワードが開発した波状運転指数という独自のロジックでドライバーのエコドライブの実施度合いを評価することができるサービス。導入事業者数が約1,500社で、搭載車両数は約30,000台の販売実績があり、車載器はシガーソケットから電源を取るだけで使える手軽さから、運送事業者だけでなく様々な業態の事業者にも採用されている。

エコドライブの実施度合いを数値化する波状運転指数

波状運転指数はGPSより取得した車両の速度データから、エコドライブにおける理想的な速度変化との乖離を解析することで、無駄な加速や減速によるエネルギーロス測定。波状運転指数は丁寧な発進や加減速の少ない運転、早めのアクセルオフなどで評価が高くなり、運転の滑らかさを数値化することによってエコドライブの実施度合いを評価している。

急発進や急ブレーキなどの発生で評価をするイベント検知型ではないため、運転をしている全ての時間でエコドライブの実施度合いを数値化することが可能。波状運転指数を意識した運転をすることでエコドライブ技術の向上などにつなげることができる。



波状運転指数のイメージ



エコドライブ計測器 Eco-SAM

導入ハードルが低いシステム

車両のシガーソケットから電源をとるだけで使用できるEco-SAMは、ハードウェアの取り付けが簡単で比較的価格も安いため導入のハードルが低い。また、トラックやバスだけでなく一般的な乗用車にも導入できることから、運輸事業者や廃棄物処理事業者の他にも商社やメーカーといった一般事業者にも多く採用されている。

渡辺精工社によるEco-SAMの燃費改善効果調査

渡辺精工社が行った調査では、波状運転指数の評価が1段階良くなると2.4%ほどの燃費改善効果があるという結果になった。また、Eco-SAMを導入している顧客事業者の燃費データを独自に分析したところ、平均で13.6%の燃費改善が見込めるという調査結果となった。

Eco-SAMを導入している事業者からは燃費改善だけでなく、安全運転やタクシーであれば乗り心地の改善にもEco-SAMの波状運転指数が活用できるという声も上がっている。

事業者	燃費改善率	燃費改善率	燃費改善率	燃費改善率	燃費改善率
1社	1.2%	2.1%	3.5%	4.8%	6.2%
2社	1.5%	2.3%	3.8%	5.1%	6.5%
3社	1.8%	2.6%	4.1%	5.4%	6.8%
4社	2.1%	2.9%	4.4%	5.7%	7.1%
5社	2.4%	3.2%	4.7%	6.0%	7.4%
6社	2.7%	3.5%	5.0%	6.3%	7.7%
7社	3.0%	3.8%	5.3%	6.6%	8.0%
8社	3.3%	4.1%	5.6%	6.9%	8.3%
9社	3.6%	4.4%	5.9%	7.2%	8.6%
10社	3.9%	4.7%	6.2%	7.5%	8.9%
11社	4.2%	5.0%	6.5%	7.8%	9.2%
12社	4.5%	5.3%	6.8%	8.1%	9.5%
13社	4.8%	5.6%	7.1%	8.4%	9.8%
14社	5.1%	5.9%	7.4%	8.7%	10.1%
15社	5.4%	6.2%	7.7%	9.0%	10.4%
16社	5.7%	6.5%	8.0%	9.3%	10.7%
17社	6.0%	6.8%	8.3%	9.6%	11.0%
18社	6.3%	7.1%	8.6%	9.9%	11.3%
19社	6.6%	7.4%	8.9%	10.2%	11.6%
20社	6.9%	7.7%	9.2%	10.5%	11.9%

渡辺精工社による調査結果

上位受賞事業者の取組事例紹介



花王ロジスティクス株式会社 石狩営業所

所在地：北海道石狩市新港南2-718-6
 業務内容：運輸業(トラック)
 拠点数：1
 従業員数：138名
 車両数：35台(自社車両5台)
 活動実績：8年



カーボンニュートラル達成を目標にしたエコドライブ活動

2050年のカーボンニュートラル達成に向けて、燃費改善のため新しく独自の工夫を実践しながらエコドライブ活動を実施。

協力会社を巻き込みエコや安全に対する意識を提案しながら合同で配送業務にあたるなど、社内外問わず積極的にエコドライブ活動に取り組む。

エコドライブ活動の成果

2020年度比

**1.0%燃費向上
(中型ディーゼル車)
無事故継続
(保険適応)**

受賞事業者の声

大変名誉ある「優秀賞」を頂戴し、誠にありがとうございます。今回の受賞は全従業員の大きな励みとなりとても光栄に思います。今後においてもエコドライブ活動を推進し社会貢献や様々な取組みに貢献してまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	理念・方針 組織・体制 目標・計画	・本社RC推進本部より省エネ推進の重点活動として燃費の改善が明記 ・全社の目標達成に向け事業所として環境組織を構築 ・年間のエコドライブ活動スケジュールに沿って活動	毎月の定例会議や毎日の朝礼にて全従業員向け目標計画を共有
	周知・説明 点検・整備	・運行前点検のマニュアルに写真を添付することで点検漏れを防止	目標
教育の実施	環境問題 教育計画 教育資料 教育記録	・毎月、環境問題やカーボンニュートラルの教育を実施 ・配送ドライバーとマイカー通勤者向けにエコドライブの年間教育スケジュールを策定 ・ドライブレコーダーの映像を危険予知訓練に活用 ・エコドライブ教育で使用した映像資料や感想などの記録を保存	車通勤をしている従業員全員の燃費データを管理
	外部セミナー マイカー教育 燃費目標	・外部講師を招き、日常点検時のポイントなどを受講	燃費管理表 (km/L) 7.39 7.80 7.28 8.01 7.81 7.33 7.53 7.23 7.77 7.48
燃費管理	燃費管理 燃費分析 教育活用 過去履歴	・社内ネットワークを活用して事業所ごとに燃費を管理、達成状況を月次で評価 ・先月、前年対比などで分析し、燃費結果をまとめて掲示 ・燃費分析結果を毎月の職場ミーティングにて周知。それに対して各ドライバーが所感と次月目標を提出 ・活動開始からすべてデータ保管。推移の観測や対比に使用	目標達成のための手段を明記した資料を作成
	燃費向上 事故管理 成果の周知	・2020年度比で 1.0%燃費向上(中型ディーゼル車) ・事故件数にKPI目標値を設定し、対策のため独自の取組を実施 ・燃費結果やCO2排出量などを各事業所に提示し共有	A 営業所 営業所 営業所 燃費目標 燃費目標 燃費目標
活動成果	対外活動 社員評価	・エコドライブの継続により1年間無事故無違反を達成したドライバーを表彰	従業員とグループ会社を対象とした安全運転講習会の実施
	活動実績 活動見直し 独自工夫	・2014年より活動開始 ・3か月に1回、活動状況を確認。目標達成に向けた細かい改善内容を制定	安全運転
継続実績と方策	認証登録 エコカー等	・Gマークを取得 ・ハイブリッド車両やエコタイヤを導入	1,400回転以上踏み込まないよう、タコメーターに印をつけエンジン回転数を抑制
			1,400回転

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント

カーボンニュートラル実現に向けた着実な一歩

活動の目標を周知徹底するための独自の指標

継続的発展可能な社会を目指し、2050年時点でのカーボンニュートラル実現という大きな目標を掲げてエコドライブ活動を推進。

事業者としてカーボンニュートラルを実現するためには、その目標を従業員に周知することが重要であるという考えから、エコドライブ活動を推進する各種会議やグループミーティングの参加率を指標化。参加率100%を目標にすることで全従業員に活動方針を周知徹底できるよう工夫している。



グループミーティング

教育の実施

評価ポイント

座学・実技・マイカー教育でエコドライブの取組を推進

マイスター制度による添乗指導や独自のマイカー教育でCO2排出量を削減

環境問題やカーボンニュートラル実現に向けた教育を、月1回の職場会議にて実施。さらに、社内マイスター制度を導入し3名のマイスターによる添乗指導や、事故防止に向けた体験型ヒヤリハット教育などを行っている。

また、車通勤の従業員が多いことからマイカーのエコドライブ教育にも注力。燃費向上や事故防止を目的に時間にゆとりを持った出勤ができるよう、自宅から会社までの所要時間に応じた自宅を出る時間の目安を算出。従業員一人一人がCO2排出量を削減できるよう工夫している。



マイカー教育の風景

活動成果と評価

評価ポイント

目標達成に向けて協力会社と取り組むエコドライブ活動

協力会社と合同でエコや安全に関わる実車研修を実施

石狩営業所では、3社の協力会社と共同で配送業務を行っている。そのため、CO2排出量の削減には、協力会社との共同でエコドライブ活動に取り組む必要があると考え、合同でのエコや安全に関する実車研修を実施。

社内の活動以上に協力会社との共同取組が重要であると認識しており、積極的に研修の実施を提案。自社の企業活動におけるトータルでのCO2排出量を削減できるよう、社外へのエコドライブ普及活動にも注力している。



協力会社と講習

継続実績と方策

評価ポイント

燃費改善に向けた新しい取組を積極的に実施

「ハーフタンク給油」や「エコタイヤ推奨」などの新たな取組

車両重量を減らすため、燃料タンクの半量を給油する「ハーフタンク給油」などの新しい取組を積極的に実施。前年度の燃費実績との比較や、検証結果のまとめを行い、効果的な取組内容が見極めている。

さらに、通勤車両の「エコタイヤ推奨」資料を作成し、社内に展開。ドライバーのエコドライブスキルだけに頼らず、会社全体としてCO2排出量を削減できるよう創意工夫する企業文化が根付いている。



タイヤ講習



有限会社裕進運輸

所在地：三重県三重郡菟野町千草4992-7
 業務内容：運輸業(トラック)
 拠点数：2
 従業員数：50名
 車両数：47台
 活動実績：16年



各ドライバーが自分事として取り組むエコドライブ活動

2006年にグリーン経営認証を取得し、エコドライブ活動を開始。従業員が楽しく、かつ自分事に捉えながら取り組める活動を重視。自社独自のエコドライブ10か条の作成や、複数の燃費目標値設定など一人一人が**納得感を持って燃費改善に取り組める様々な工夫**がされている。さらに、3つある委員会はドライバー主体で構成されており、組織の若返りを狙い新たな取組に挑戦し続けることで、より良いエコドライブ活動を探索し続けている。

エコドライブ活動の成果

2007年度比
13.0%燃費向上
(大型ディーゼル車)
無事故達成
(保険適用)

受賞事業者の声

活動開始から15年の節目に受賞頂きありがとうございます。甘んずることなく邁進する所存です。若手も増え(女性ドライバー含む)3委員会とも編成を変えることとなりました。各委員長も若返り、更なる向上心を持ち進み続けていきます。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	理念・方針 組織・体制 目標・計画 周知・説明 点検・整備	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針にエコドライブ活動や燃費管理の方法などを細かく記載 環境問題対策委員会としてSDGs推進事務局長を設置 年間教育計画を策定し、毎月の具体的な指導項目を設定 月に1回計画および経過を環境問題対策委員会で報告 	整備管理補助者を増員し、点検整備計画を実施
	環境問題 教育計画 教育資料 教育記録	<ul style="list-style-type: none"> SDGs活動参入に当たり、SDGs活動勉強会を実施 エコドライブに関する勉強会を年間スケジュールに組み込み、毎月実施 国土交通省やトラック協会の資料のほかYouTube動画なども利用。ドライバー同士のコミュニケーションが活発 指導教育記録を作成し、エコドライブについての評価を記録 	エコモ財団認定のエコドライブ講習に参加し、翌月委員会にて情報を共有している
教育の実施	外部セミナー マイカー教育	<ul style="list-style-type: none"> 通勤乗用車向けに「エコドライブ10のすすめ」を配布 	エコドライブ講習会
	燃費目標 燃費管理	<ul style="list-style-type: none"> 個車ごとに燃費目標を設定 	高速使用頻度、荷物の総重量[軽・中・重]を加えた独自の燃費管理表を作成
燃費管理	燃費分析 教育活用 過去履歴	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の燃費実績を車種別に一覧化し周知 全車月間平均の推移を社内教育に活用 活動開始時からの燃費と事故実績をまとめグラフ化 	燃費管理表
	燃費向上 事故管理 成果の周知	<ul style="list-style-type: none"> 2007年度比で13.0%燃費向上(大型ディーゼル車) 事故ゼロ委員会を設置し、事故件数や修繕費を管理 燃費実績を表にまとめ社内にて掲示 	トラックドライバー甲子園アワードにて、自社の取組を紹介。優秀取組として表彰経歴あり
活動成果	対外活動 社員評価		表彰状
	活動実績 活動見直し	<ul style="list-style-type: none"> 2006年より活動開始 	環境問題対策委員会にて毎年活動内容を見直し
継続実績と方策	独自工夫 認証登録 エコカー等	<ul style="list-style-type: none"> 社内表彰や無事故無違反チャレンジなどを実施 2006年よりグリーン経営認証を継続して取得(永年表彰) ハイブリッド車、低公害車を導入 	活動内容の見直し

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント 高い活動レベルを維持する独自の取組体制

エコドライブ活動をけん引するドライバー主体の社内委員会

エコドライブや安全運転などに関わる独立した委員会を社内を設置。ドライバーが主体となりエコドライブを推進する「環境問題対策委員会」、事故などへの対策を主とする「事故ゼロ委員会」、社内ルールの順守を主とする「あたりまえ委員会」という3つの委員会が置かれており、高いレベルのエコドライブ活動や安全運転活動を支えている。

また、委員会同士が競い合うように新しい取組にも挑戦しており、エコドライブ活動にさらに勢いがついている。



あたり前委員会の活動

教育の実施

評価ポイント アウトプットの場を設け、活動の理解度をアップさせる工夫

ドライバー同士の学びあいを目指した勉強会

エコドライブに関する勉強会を毎月実施。整備士を講師とした勉強会やドライバー同士でアクセルの踏み方、クラッチのつなぎ方のアドバイスを行うなど、社内コミュニケーションを主とした勉強会を積極的に開催。ドライバー自身が持っている知識や情報をアウトプットする機会を設けることで、エコドライブの理解度がさらに向上するよう工夫。

また、最近では国土交通省やトラック協会の資料、インターネットの動画などを教材に利用。さらにドライバーの理解度を高めていく工夫も行っている。



勉強会風景

活動成果と評価

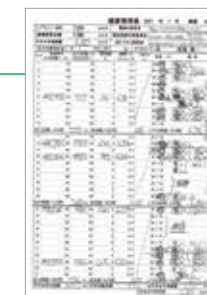
評価ポイント ドライバーに成功体験を積み重ねてモチベーションアップ

納得感のある燃費目標値を設定するための仕組みづくり

車両別カタログ値、国土交通省の定める目標値、前年度実績をもとに算出した目標値など、様々な目標値を設定。複数の燃費目標値案を委員会で議論し、適切と判断した目標値をドライバーに展開。

目標値を複数設定することで、ドライバーが成功体験を積みやすくモチベーションを高めている。

さらに、誰に対しても納得感のある目標値を設定することで、モチベーション維持にもつながっている。



燃費管理表

継続実績と方策

評価ポイント コミュニケーションを活発化させる社内表彰制度

ドライバー同士が積極的に交流するエコドライブグランプリ

社内で独自のエコドライブグランプリを開催。目標達成率に応じてポイントを付与し、最終的なポイント数で順位付け。上位者は表彰され賞金を授与。期間中、競い合いより切磋琢磨する姿が目立ち、ドライバー同士の交流につながっている。さらに、ドライバーのエコドライブのノウハウや情報交換なども積極的に行われており、会社全体のエコドライブ技術の向上を支えている。



エコドライブグランプリの風景



有限会社エース 三重営業所

所在地：三重県鈴鹿市住吉町5789-2
 業務内容：運輸業(トラック)
 拠点数：1
 従業員数：14名
 車両数：15台
 活動実績：7年



ドライバー同士が力を合わせて発展させたエコドライブ活動

2011年にグリーン経営認証を取得し、2015年よりエコドライブ活動を開始。ドライバーが主体性をもって取り組める活動を目指し、ドライバー同士のコミュニケーションが発生するよう体制づくりを工夫。
運転条件が近いドライバー同士の少人数チームを編成し、 団結して燃費改善に取り組みやすい環境を構築。チームとしても会社全体としても高い意識でエコドライブ活動に取り組んでいる。

エコドライブ活動の成果

2015年度比
3.4%燃費向上
(大型ディーゼル車)
無事故継続
(重大事故)

受賞事業者の声

今回、営業所での受賞となりました。今後は全社で環境と安全の取り組みを進めていきエコドライブを実践していくと共に、社会に貢献していきたいと思っております。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	理念・方針	・環境方針にエコドライブ推進を明記	日常点検の項目を細かく設定。運行前に点検し、整備管理者が管理
	組織・体制	・エコドライブ推進責任者(所長)を中心にエコドライブ活動に注力	
教育の実施	目標・計画	・目標と具体的な取組内容を設定	
	周知・説明	・定めた目標・計画は定期ミーティングで説明・周知	
	点検・整備	・環境問題を訴えるポスターを社内に掲示	
燃費管理	環境問題	・エコドライブ推進責任者(所長)を中心にエコドライブ活動に注力	ドライバーごとに事故発生件数と修繕費を管理
	教育計画	・目標と具体的な取組内容を設定	
	教育資料	・全日本トラック協会の資料を使用	毎年活動内容を見直し、行動計画に落とし込んでいる
	教育記録	・教育時のドライバー自身の感想なども記録して保管	
外部セミナー	・学んだエコドライブをマイカーでも実践するよう推奨	燃費管理	
マイカー教育	・学んだエコドライブをマイカーでも実践するよう推奨		燃費分析
燃費目標	・2015年度比で、3.4%燃費が向上(大型ディーゼル車)	燃費活用	
燃費管理	・本社が全事業所分の燃費データを一括で管理		過去履歴
燃費分析	・集計した燃費データは目標値や前年度比が一目でわかるグラフ情報に編集	成果の周知	
教育活用	・毎月のミーティングで燃費結果をドライバーへ周知		対外活動
過去履歴	・活動開始から現在までの燃費結果を保管	社員評価	
燃費向上	・2015年度比で、3.4%燃費が向上(大型ディーゼル車)		活動実績
事故管理	・燃費結果や事故件数、事故1件当たりの修繕費を社内に掲示	活動見直し	
成果の周知	・全ドライバーの燃費結果をランキング形式で表示。毎月トップ3を表彰		独自工夫
対外活動	・2015年より活動開始	認証登録	
社員評価	・2015年より活動開始		エコカー等
活動実績	・2015年より活動開始		
活動見直し	・社内でエコドライブの結果を競い合うイベントを開催		
独自工夫	・グリーン経営認証を取得		
認証登録	・デジタルタコグラフなどのエコドライブ支援装置を導入		
エコカー等			

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント
ドライバーの主体性を高める仕組みづくり

ドライバー自身が考えてエコドライブを実践

次年度の個人目標をドライバー本人が決定するなど「自ら考えて取り組むエコドライブ」ができるよう工夫。目標や取組内容をドライバー主体で決定することで、エコドライブや事故削減に関する意識や関心が高まるようにしている。その結果、エコドライブ教育を行っている毎月のミーティングでは、ドライバーが積極的にエコドライブの工夫やヒヤリハットなどを共有するようになった。ドライバー自らがエコドライブなどに関わる情報を発信することで、自身の振り返りになるとともに、他ドライバーの共感も得やすく燃費改善や事故削減につながっている。



目標管理表

教育の実施

評価ポイント
ドライバー同士でエコドライブの課題を共有・解決できる体制

共通する運転条件のチームで実施する小集団活動

長距離を走行する「長距離チーム」と、比較的近距離を走行する「地場チーム」という編成で、チーム別にエコドライブに取り組んでいる。燃費が伸び悩んだ際に実体験をもとにした具体的なアドバイスが行われるなど、共通する運転条件のドライバーを集めたチームだからこそその相乗効果が発生。
 また、チーム単位の小集団で活動することで、チームワークも生まれ会社全体として積極的にエコドライブ活動に取り組む社内環境が構築された。



チームでの活動風景

燃費管理

評価ポイント
日々の運転から燃費を意識できるようにする工夫

ドライバー自らが燃費計算を行う給油調査票

給油時に、ドライバーが給油量と走行距離から燃費を計算し給油調査票に記録。ドライバー自身が計算することで、日々の運転で燃費を意識しながら運行。
 集計した燃費データは目標値や前年度比が一目でわかるグラフ情報に編集し、毎月のミーティングでドライバーへ周知。
 目標値との差や燃費結果の推移などを分かりやすく伝えることで、改善方法の検討やモチベーションアップにつなげている。



給油調査票

継続実績と方策

評価ポイント
ドライバーのモチベーションをアップさせる取組

個人やチームごとにエコドライブ・安全運転を競い合う「安全甲子園」

エコドライブや安全運転の項目を競い合う「安全甲子園」を実施。個人やチームごとに無事故・無違反、デジタルタコグラフの点数、改善提案・異常発見、ヒヤリハットなどの部門別に評価し表彰。
 この取組により、ドライバー同士の団結力や主体性が向上。リーダーを中心に燃費改善に向けた具体策を率先して提案するようになった。
 個人もチームも評価することで、ドライバー一人一人の意識だけでなく、会社全体のエコドライブ意識を醸成。

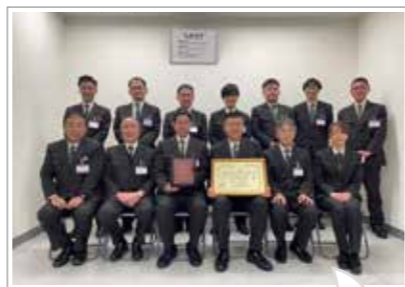


社内教育・表彰制度「安全甲子園」



南海バス株式会社 井高野営業所

所在地：大阪府大阪市東淀川区井高野4丁目3-59
 業務内容：運輸業(バス)
 拠点数：1
 従業員数：152名
 車両数：86台
 活動実績：15年



充実した社内教育でエコと安全の意識を向上

2007年にエコドライブ活動を開始し、2011年にグリーン経営認証を取得。組織体制やドライバーの評価制度を整え活動を継続。

社内教育を徹底しており、入社時からエコドライブ意識を根付かせる取組を実施。

毎月の教育では、班ごとに**ドライブレコーダーのデータから自分の運転を振り返る機会を設定**。運転改善に向けた議論も積極的に行われ、互いに技術向上を目指せる環境となっている。

エコドライブ活動の成果

2007年度比

**0.4%燃費向上
(大型ディーゼル車)
事故件数27.3%削減
(保険適用)**

受賞事業者の声

この度の「優秀賞」受賞を井高野営業所一同大変うれしく思います。今後も安全運転とエコドライブの両立を心掛け、安全と安心を提供してまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	理念・方針	<ul style="list-style-type: none"> 組織・体制 目標・計画 周知・説明 点検・整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・班制度を取り入れてエコドライブを推進 ・全事業所で対前年比2%以上の燃費向上を目標に掲げている ・各委員会にて目標を説明、周知 ・法定点検、検査、45日ごとの自主点検を実施 	入社時、全ドライバーへ配布する 運転業務係必携にエコドライブの必要性を記載
	環境問題	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所内にエコドライブ活動関連のポスターを掲示 ・年度末に翌年度の重点取組事項を策定 	運転の分析結果をもとに、 特に改善が必要な点を口頭指導	
教育の実施	教育計画	<ul style="list-style-type: none"> ・教育記録 外部セミナー マイカー教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実施記録や受講者の意見を、次回の取組内容に活用 ・外部講師を招いて運行管理者研修会を実施。事故防止やエコドライブ推進について教育 ・班別安全管理委員会で、マイカーのエコドライブについて教育 	燃費結果を委員会で報告し、 悪化している場合は原因、分析、対策を議論
	燃費目標	<ul style="list-style-type: none"> ・燃費管理 燃費分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成のためチームごとにエコドライブの行動目標を設定 ・車両ごとに消費燃料と走行距離をまとめて管理 ・1年間の車種ごとの燃費推移をグラフ化。昨年対比を視覚的に把握 	日報やドライブレコーダーの映像をもとに ドライバーを評価
活動成果	燃費管理	<ul style="list-style-type: none"> ・燃費分析 教育活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動開始から現在までのすべての燃費データを車両の大きさごとに管理 	毎月事業所での取組をPDCAサイクルで検討し、 計画の見直しを実施
	燃費向上	<ul style="list-style-type: none"> ・燃費管理 事故管理 成果の周知 対外活動 社員評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・2007年度比で 0.4%燃費向上(大型ディーゼル車) ・事故の種別ごとに発生件数を管理。これまでの推移をグラフ化し分析 ・事業所入口に、年度ごとの燃費推移や目標、ドライブレコーダーの月報を掲示 ・近隣小学校の社会見学としてエコドライブと安全運転の体験活動を開催 	燃費計画 (L/km) 4月 5月 6月 7.39 7.20 8.23
継続実績と方策	活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・活動実績 活動見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所が開業した2007年度より活動実施 	
	独自工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・燃費管理 認証登録 エコカー等 	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブ特別強化期間を設け、期間中はアイドリングストップやエコドライブを徹底 ・2011年よりグリーン経営認証を取得(永年表彰) ・ハイブリッドバスを7台導入 	

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

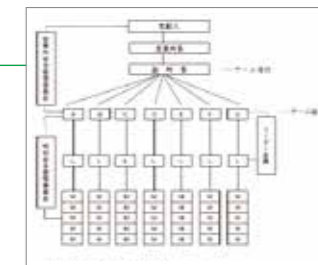
評価ポイント

会社全体のエコドライブ技術を向上させる仕組み

ドライバー同士の連携を高める班活動

ドライバーの中から選出されたリーダーを中心に班を編成。この班制度は、ドライバー間での連携を目的としており、毎月の会議では班目標の周知や先月のエコドライブの取組状況、事故内容を共有。エコドライブや安全運転の取組改善につなげている。

さらに、ドライブレコーダーの採点機能を活用し、得点の低いドライバーには路上教習を実施。班の連携を生かして会社全体のエコドライブ技術向上に努めている。



班構成

教育の実施

評価ポイント

エコドライブ支援機器を有効に活用した教育

ドライブレコーダーの映像視聴による運転の振り返り

毎月行う班別安全管理委員会にて、ドライブレコーダーの振り返りを実施。ドライブレコーダーの取得データからエコドライブの取組検証や、映像を視聴しての事故の分析と防止策の策定などを行っている。

実際の映像を視聴することで、客観的に自らの運転を振り返ることができる。とともに、他ドライバーにも危険性が伝わりやすく、班全体の安全意識向上につながっている。



班別安全管理委員会

燃費管理

評価ポイント

目標達成意識を育むドライバー主体の取組

徹底した原因究明と燃費の改善対策

車両ごとに専用の給油カードを備え付け、燃料使用量を自動でデータ化。車種ごとに分析した燃費結果を、班別安全管理委員会で報告。燃費が悪化していた場合には、原因の分析及び対策を議論。議論した結果を踏まえて班ごとにエコドライブの行動目標や具体的な取組内容を決定。ドライバーが中心となって議論・目標設定を行うことにより、目標の達成意識を醸成。前年度燃費を大きく上回る結果となっている。



実車を用いてエコドライブに繋がる操作についてドライバー間で議論

継続実績と方策

評価ポイント

会社や社会の状況に合わせて積極的に新しい取組を展開

ドライバーのエコドライブ意識を高めるWe LOVE Eco運動

近年はコロナ禍で取組内容を制限されていたが、2022年から全社一丸となって取り組むWe LOVE Eco運動を実施。

全社と事業所別、それぞれの取組事項を設定。全社では、停車時のアイドリングストップスイッチONの徹底や乗務指導を実施。事業所別では、ドライバーへのヒアリング指導や構内を巡回してのエコドライブ指導、指導後フォローなどに取り組んだ。



We LOVE Eco運動



仲田総業株式会社 川田事業所

所在地：栃木県宇都宮市川田町836-3
 業務内容：廃棄物処理業
 拠点数：1
 従業員数：25名
 車両数：39台
 活動実績：13年



現場の意見を積極的に活動に取り入れ活動レベルを高める

2009年に取得したグリーン経営認証とエコアクション21をもとに、全社的にエコドライブ活動に取り組んでいる。トップダウンでの制度や仕組みづくりだけでなく、**現場ならではの気づきを取組に活かし**車両ごとに異なる目標を設定するなど、ドライバーの積極的な取組参加を図る。

エコドライブ活動の成果

2020年度比
6.9%燃費向上
(中型ディーゼル車)
事故件数50.0%削減
(保険適応)

受賞事業者の声

この度は大変名誉ある「優秀賞」をいただき誠にありがとうございます。エコドライブ活動は経営と現場が一体となり、総力を結集して取組んだことにも評価を頂いたものと心より御礼申し上げます。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組	・グリーン経営認証、エコアクション21に基づきエコドライブ活動を実施	経営層を筆頭に、総括/環境安全/エコドライブ活動推進/整備/事務局にそれぞれ責任者を配置するなど、実施体制を構築
	体制・目標		
教育の実施	点検・整備	・タイヤの空気圧や排ガス(黒煙)を定期的にチェック	
	環境問題	・環境行動計画を策定し、全社的にエコドライブ活動に取り組む	毎日の社内安全教育マニュアルの読み合わせによる安全管理
燃費管理	教育資料		安全教育マニュアル
	教育実施	・毎月ドライバー全員が安全運転自己診断書を提出し、心身・健康の把握と管理	
活動成果	燃費管理	・燃費データはエコドライブ管理責任者が管理、集計。結果は本社の総務課でダブルチェック	グリーン経営認証、エコアクション21に掲げる数値として目標燃費を設定
	燃費目標		エコアクション21基本方針
継続実績と方策	燃費向上	・2020年度比6.9%向上(中型ディーゼル車)	エコドライブ活動コンクールへの参加を地元新聞や車両への大型ポスター貼付などで周知
	事故管理	・事故は自社指定の報告書で管理	
独自工夫	対外活動		3か月単位でエコドライブと安全運転を評価、表彰する取組を実施
	活動実績	・2009年より活動開始。同年にグリーン経営認証を取得	
	エコカー等	・テレマティクス装備車のドライバーには運行データを活用した教育を実施	

エコドライブ活動 主な応用取組

教育の実施 評価ポイント: 専門性の高い教育・指導を行う工夫

各分野の専門家を講師に招くエコドライブ講習

長年取引をしているエコドライブ活動に関係する専門家を招き、定期的に講習会や指導を依頼。自動車販売メーカーやタイヤメーカー、保険会社など様々な分野の専門家からの指導を受けることで、ドライバーだけでなく、管理・担当者も新たな気づきが得られている。また、複数の分野について講習を受けることでマンネリ化を防げるとともに、エコドライブを楽しむポイントが見つけやすく、ドライバーの積極的な活動参加につながっている。



講習会風景

燃費管理 評価ポイント: 運搬重量などを考慮してエコドライブの実施度合いを評価

徹底したデータ分析により実現した納得感のある燃費指標

燃費データは運行日報に基づき全車両の走行距離、給油量、運搬重量を毎日PCに入力し管理。さらに、3か月ごとに燃費データを集計し社内連絡表に記載することで、ドライバーを含む全従業員にエコドライブ活動の成果を共有している。また、各ドライバーのエコドライブの実施度合いは、単純な燃費結果だけで判断せず運搬重量なども考慮した独自の指標で評価。実態に合わせた燃費評価ができるよう工夫することで、ドライバーが納得感を持ってエコドライブ活動に参加できている。



燃費データの掲示

活動成果 評価ポイント: 現場の意見を取り入れて燃費改善を実現

車両の使用用途や車両タイプ別に実施するエコドライブの工夫

日々エコドライブに加え、車両タイプ別に様々な工夫を取り入れている。普通貨物車両では、運搬用途に廃プラスチック類を増やし積載量を軽減。さらに運行ルートの見直しを行い、エコドライブとの相乗効果により、2020年度比で燃費が41%向上した。また、短い距離の運転が多く燃費向上が難しい中、現場のドライバーが主導的に対策を考案。加速や減速を丁寧に行い、アイドリングの時間を減らすなど工夫を重ね、中型貨物車両では7%、大型貨物車両では12%の燃費向上を達成。堅実な取組を続けていくことで、大幅な燃費改善につながった。



燃費管理・分析

継続実績と方策 評価ポイント: 活動を継続させるための意識醸成の取組

朝礼や車両清掃でドライバーのエコドライブ意識をアップ

継続が大切であるという考えから、毎日朝礼にて「エコドライブ10のすすめ」から1標語を唱和。エコドライブの意識付けを行っている。さらに、ドライバーが安心して運転できるよう、常に自社内で車両整備や清掃を徹底。整備された綺麗な車両と清潔な服装で仕事ができる環境を構築することで、ドライバーのエコドライブの実施度合いが高まった。小さな取組も着実に実行・継続したことで、エコドライブ意識だけでなく運転行動にも変化をもたらした。



車両清掃の徹底



エステ株式会社

所在地：東京都新宿区下落合1-4-10
 業務内容：日用品メーカー
 拠点数：9
 従業員数：953名
 車両数：111台
 活動実績：1年



2021年の活動開始から短期間でレベルの高いエコドライブ活動を実施

環境に関する取組として「みんなの地球の空気のために」をテーマに脱炭素化・再資源化の取組を推進。その一環としてCO2排出力削減を目的にエコドライブ活動を開始。

2021年から活動を開始し**自社で作成した資料や動画などを活用した教育を実施**。今後も活動の趣向を凝らし、更なる燃費改善を目指す。

エコドライブ活動の成果

2021年度エコドライブ活動スタート

**1.4%燃費向上
(全車)
無事故継続
(重大事故)**

受賞事業者の声

弊社の取組を「優秀賞」として評価頂きまして、誠にありがとうございます。今回の受賞は、当社の事業活動において大きな励みとなります。弊社は、気候変動への対応を重要課題と捉えおり、引き続き、安全運転・エコドライブを実践し、環境保全に取り組んでまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組	・環境への取組の一環として、エコドライブ活動を推進	リース会社の点検整備に加えて従業員による乗車前後の日常点検を実施
	体制・目標	・営業本部長をトップとしたエコドライブ活動体制を構築	
教育の実施	点検・整備		
	環境問題	・社内広報を作成し、環境問題とエコドライブの情報を周知	座学講習や入社時の実車講習でエコドライブ教育を実施
燃費管理	教育資料	・独自に教育資料を作成、展開	エコドライブ講習
	燃費管理	・運転日報と社内システムを活用し燃費を管理	エコドライブ活動開始前の燃費を基準として、1年で5%の燃費改善を目指す
活動成果	燃費目標		燃費 5%改善
	燃費向上	・2021年度比で1.4%燃費向上(全車)	事故件数について管理し、安全運転定例会や環境活動推進委員会にて結果を都度共有
継続実績と方策	事故管理		報告書
	活動実績	・2021年11月より活動開始	ハイブリッド車両を計画的に導入。2022年3月31日時点で78.9%の入れ替えが完了しており、2023年には全入れ替え完了予定
	エコカー等		
	独自工夫	・安全運転やエコドライブの取組に関して支店ごとに社長賞を授与される	

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント

エコドライブに縛られない幅広い環境活動

CO2排出量の削減を目的とした様々な環境への取組

ESG取り組みに基づき、エコドライブ活動を実施。営業本部本部長をトップに、営業支援グループが中心となってエコドライブ活動に取り組んでいる。

また、営業車のエコドライブ活動以外にも会社としてのCO2排出量削減を目的に、再生エネルギーの導入を推進。

他にも、自動車で行われている貨物輸送を環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へと転換するモーダルシフトの推進など、環境に配慮した取組を積極的に実施。



中長期ESG推進プラン「空気をかえようAction 2030」

教育の実施

評価ポイント

従業員の運転レベルに合わせた実車講習

ドライバーへのアンケートを実施し取組を改善

営業車を使用する従業員に対して、年に1度エコドライブに関する座学講習を実施。講習内容についてアンケートを行い、次年度以降の改善に役立てている。

また、車の運転に慣れていない新入社員が増えていることから、座学のみでなく毎年新入社員に対してドライビングスクールでの実車講習も実施。座学だけでなく実車での講習も行うことで、実地的なエコドライブ教育が可能。



アンケート結果の分析

教育の実施

評価ポイント

教育資料を自社内で作成することで管理者側もレベルアップ

自社作成資料や動画で行うドライバー教育

自社でセーフティ&エコドライブNewsという独自資料を月に1度作成し、発行。エコドライブのコツや走行パターン別のポイントなどをまとめており、従業員へ適切な情報提供を行っている。

さらに、コロナ禍で外部講師を招いての講習が実施できなかったため、自社で動画を作成。各事業所に視聴してもらうことで、継続してエコドライブ教育を実施。

エコドライブ教育を最大限工夫することで、短期間で高い活動レベルを実現。



セーフティ&エコドライブNews

燃費管理

評価ポイント

燃費改善に向けた徹底的なデータ活用

社内システムを活用した燃費管理・燃費分析

車両ごとに日々の走行距離と給油量を運転日報に記録。燃費データを社内システムで管理し、車両ごとの月間燃費などを一目でわかるように保管している。さらに、このデータをもとにエコドライブの進捗資料を毎月作成し、拠点ごとの燃費改善率も算出。

燃費データを徹底的に分析することで今後の改善に役立てている。

さらに、四半期に1度エコ安全ドライブ報告書を作成し、社内に活動の成果を報告することでエコドライブ意識の維持を図っている。



エコドライブ進捗資料・エコ安全ドライブ報告

エコドライブ活動の基本取組「活動の目標と計画」のイメージ

①エコドライブ活動の計画作成

エコドライブ活動の質を向上させるには、年間の活動計画を立案することが重要です。ドライバー教育などを計画的かつ継続的に行うことで活動のレベルアップにつながります。

また、燃費推移の分析結果を共有する定例会議を設定することで取組の効果を確認でき、さらに課題の解決や改善に向けた対策について社内で協議することができます。

さらに、活動全体が1人の担当者に依存した体制にならないよう注意する必要があります。エコドライブ活動を維持・発展していくためには、フローやマニュアルを整備し活動方法の見える化を行うことが大切です。



年間の活動計画の立案

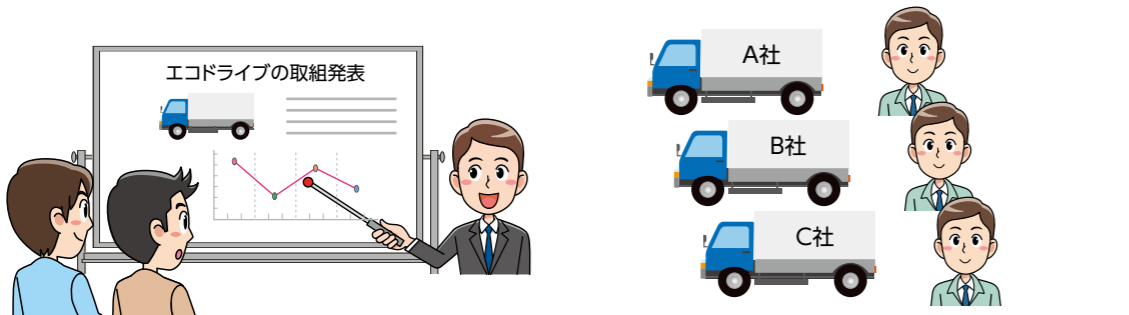
分析結果の共有・改善に向けた協議

②モチベーションをアップさせる対外活動

継続してエコドライブ活動に取り組んでいると、燃費の改善率が頭打ちになってしまうことがあります。この時にモチベーションを低下させずに活動を継続するためには、新しい取組へチャレンジすることが効果的です。

例えば、周辺地域や他社を巻き込んだ新たな取組を行うことで、社外交流の増加や活動のさらなるレベルアップにもなるため、エコドライブ活動に対するモチベーションアップに役立ちます。

さらに、SDGsや省エネ意識の浸透によりエコドライブは以前より注目が高まっています。対外活動を積極的に行うことで、企業価値の向上につながります。



周辺地域などへのエコドライブの普及活動

他社と協力して行うエコドライブの取組

上位受賞事業者以外の特徴的な取組事例紹介

(都道府県順)

上位受賞事業者以外の特徴的な取組事例を紹介します。

▶「波状運転指数」を活用したエコドライブ活動

ケーエルサービス東日本株式会社
仙台営業所

事業部門
優良認定証

社内でのエコドライブ活動を図る指標として「波状運転指数」を使用。波状指数を抑える運転をするため、目標数値やフィードバック、改善取組表の作成など、従業員教育に活用している。使用開始以来、従業員同士でのレクチャーも見られ、「急加減速」の減少や、全体の燃費向上の成果が出ている。



▶ SNSを活用した社内外への取組周知

有限会社美松運送
本社営業所

一般部門

2021年4月より自社のYoutubeチャンネルを開設し、自社や業界、地元の紹介、SDGs宣言やエコドライブの取組など幅広い話題を投稿。

社外への紹介機会を設けることで、ドライバーのモチベーションだけでなく、管理者や担当者の新たな取組にチャレンジするモチベーションを向上させている。



▶ 環境配慮型車両の積極的な導入

総合警備保障株式会社
本社

一般部門

電気自動車やハイブリッド車の導入など車両の電動化を積極的に実施。機械警備隊使用のバイクには、環境に配慮された電動バイクを順次導入している。

また、警備機器等の資源を有効活用することで廃棄物の発生を抑制したり、CSR・サステナビリティ調達指針を掲げて発送方法を見直すなど、カーボンニュートラルの実現に向けて取り組んでいる。



▶ CO2排出量の可視化とエコドライブにつなげる工夫

株式会社第一製品流通
本社

事業部門
優良賞

日々の運行でのCO2排出量を把握するため独自の計算表を作成。各ドライバーは帰社後この表でCO2排出量を計算し、結果を日別管理表に入力している。CO2排出量を把握できるようにすることで、走行の振り返りのきっかけや課題の発見、エコドライブ意識の向上にもつながっている。

自社の目標に合わせたCO2排出計算表を作成

【CO2排出量計算表】				
乗車入力				
車種	走行	走行	CO2排出量	削減率
(台)	(km)	(台)	(kg)	(%)
1.1			6.33	0.37%
2.1			6.42	0.33%
3.1			6.63	0.23%

▶ 「4m4秒ルール」で安全運転を徹底

平沢運輸株式会社
磯子営業所

事業部門
優良認定証

「4m4秒ルール」を制定。停車時は前方車両との車間距離を約4m空け、発進する際は前方車両が発進してから約4秒後に発進するルールを実践している。走行クレーンや交通事故などの撲滅を図っていたが、実際に行ってみると急加減速の頻度が格段に減少したことで、燃費向上にもつながっている。

車間距離確保の重要性について【前車との距離4m】



▶ 積載量を加味した独自単位を活用

花王ロジスティクス株式会社
広島営業所

事業部門

燃費だけを重視するのではなく、積載重量も加味した独自の評価基準を活用。積載率を上げるための取組として、荷物の大きさと重さで車両を変更するなどの工夫を行っている。また、この評価基準を今後の取組内容考案に活用しており、共同配送なども検討している。

